

令和7年5月9日

報道機関 各位

特別講演、公開のご案内（5/12）
-生物多様性×ビッグデータ×AIで拓く「自然
関連情報開示」の最前線-

このたび、久保田康裕教授（琉球大学、(株)シンクネイチャーCEO）が来県されるにあたり、特別講演を実施いただけることとなりました。

久保田教授は、生物多様性ビッグデータやAIを活用した環境情報（特に生物関連）開示の分野において、国際的な第一人者としてご活躍されています。

本講演では、近年世界的に注目が高まっているTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）およびTNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）に関連する情報開示の動向と、それに対して生物多様性データとAIをいかに活用できるかについて、お話しいただく予定です。

2022年4月以降、金融商品取引法に基づき、有価証券報告書へのサステナビリティ情報の記載が一部上場企業では実質義務化されており、企業にとっても今後ますます重要性を増すテーマです。

つきましては、本件について取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

記

- 日時 令和7年5月12日（月） 13時00分～ 14時30分
- 特別講演 「気候変動と生物多様性への対応を統合した社会変革
：サイエンスを超えた社会実装について」
- 場所 富山大学五福キャンパス 共通教育棟 C22番教室
神山智美（経済学部）担当「経済生活と法」講義において実施します。
- 参加対象 富山大学関係者（ご興味ある方）
- 申込方法 前日までに以下のメールアドレスにご連絡ください。
なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。

※詳細は別添のポスターをご参照ください。

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学 経済学部（神山智美）

TEL：076-445-6415（直通） Email：kohyama@eco.u-toyama.ac.jp

気候変動と生物多様性への対応を統合した 社会変革 ：サイエンスを超えた社会実装について



【趣旨】

TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)、およびTNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)のグローバルな動きがあります。

金融商品取引法は、有価証券報告書に「事業の内容に関する重要な事項」を記載することを規定しており、2022年4月以降、サステナビリティ情報の開示は、一部上場企業では実質義務化されてきています。

こうした情報開示(特に自然関連情報)を、生物多様性ビッグデータやAIを用いて牽引されている国際的な第一人者のおはなしをうかがいます。

講師 (対面)	久保田 康裕教授 (琉球大学) 株式会社 シンクネイチャー CEO
講演概要	概要： 気候変動の抑止と適応、生物多様性の保全と再生は、人類社会の生存可能性(サバイバビリティ)を決定づける課題です。この解決には「銀の弾丸」のような決定的な打開策はありません。 しかし、私たちの社会経済を発展させてきた資本主義経済の欠点(外部不経済など)を改善することは、重要な必要条件になるでしょう。 この講演では、生物多様性に関わる基礎研究と応用研究の成果をもとにした「サイエンスを超えた社会実装の取り組み」を紹介しつつ、現在、推進されているカーボンニュートラルとネイチャーポジティブの有望性と課題を解説し、将来的な「自然と共生する世界」の展望について議論したいと思います。
日時	令和7年5月12日(月) 13:00~14:30
場所	富山大学五福キャンパス 共通教育棟 C22番教室 神山智美(経済学部)担当の「経済生活と法」の講義で実施。
対象	富山大学関係の皆さま
参加料	無料
応募方法	席に余裕がありませんので、その旨ご了承いただき、前日までに神山宛(以下のメールアドレス)にご連絡ください。

[お問い合わせ]

富山大学経済学部 神山智美 (076-445-6415)
kohyama@eco.u-toyama.ac.jp

